「便乗運転士と便乗車掌の車内巡回」に関する 団体交渉開催を求める緊急申し入れ！

12月1日から営業列車での車内秩序維持を目的として、本線便乗乗務員（運転士・車掌）の車内巡回が実施されることとなりました。便乗運転士が車内巡回を実施するためには、接客等の準備が必要であり、便乗運転士と便乗車掌の車内巡回に際しては乗務報告書への記載も発生することになります。

しかし11月の運輸所定例訓練において「便乗乗務員の車内巡回」については補足資料も配付されず、乗務員の質問も受け付けることなく、パワーポイントによる管理者の説明だけで一方的に実施されようとしています。

私たちは今回の便乗運転士と便乗車掌の車内巡回の実施は、労働条件の変更であり、団体交渉の実施に該当する項目と考えています。私たち東海労は以下の内容で、団体交渉開催を求める緊急申し入れを行っています。

記

1. 今回の「便乗運転士と便乗車掌の車内巡回」は労働条件の変更であり、会社は直ちに団体交渉を開催すること。
2. 「便乗運転士と便乗車掌の車内巡回」は労働条件の変更であるにも関わらず、一方的に実施することは到底許されるものではない。12月1日からの「便乗運転士と便乗車掌の車内巡回」の実施は、団体交渉を開催するまで延期すること。
3. 「便乗運転士と便乗車掌の車内巡回」は、乗務に伴う準備（案内カードの作成等）が必要であり、便乗運転士と便乗車掌の車内巡回に際し乗務報告書の記載事項も発生する等、多くの問題点がある。11月の定例訓練でのパワーポイントの説明だけでは不十分である。会社は全乗務員に対し、補足資料を含めた丁寧な説明を実施すること。
4. 「便乗運転士と便乗車掌の車内巡回」は、案内カードの作成等、乗務に伴う準備が必要であり、また、乗務報告書への記載事項の記載も含まれる。従って、それに伴う準備報告時間を付加すること。

私たち東海労は会社による一方的な実施に反対します。少なくとも準備報告時間が発生しない理由について、会社からの明確な回答を求めることとします。